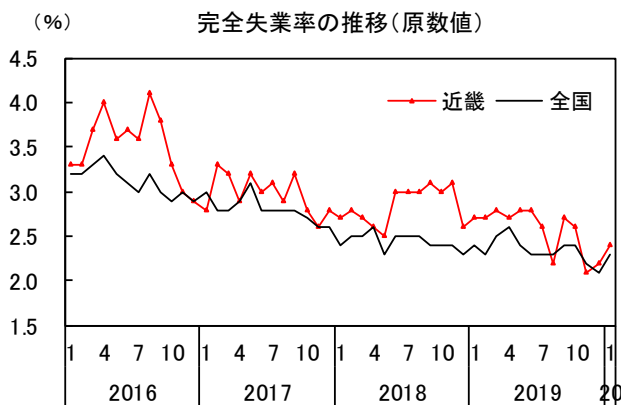
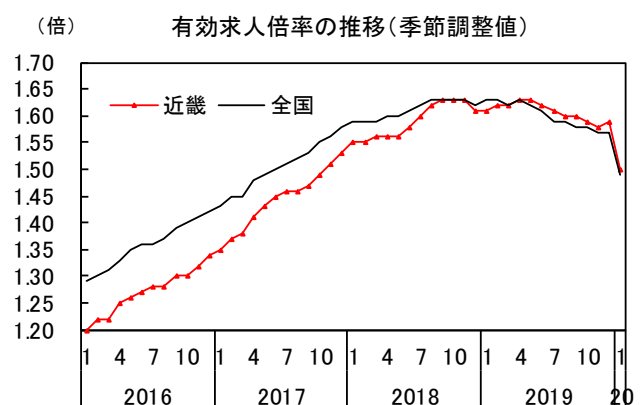


関西の景気トピックス【雇用関連（20年01月）】

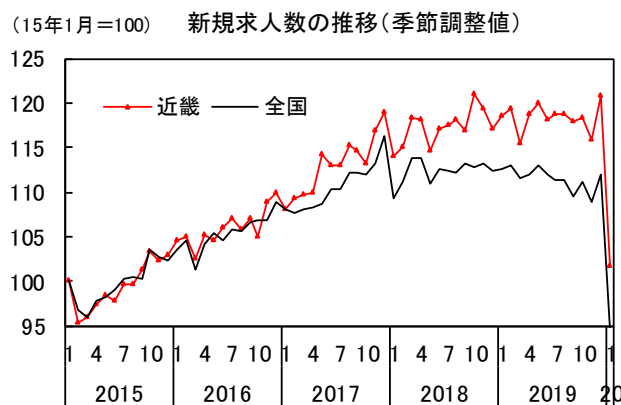
- 20年1月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は2.4%（原数値）と、前年比で0.3ポイントの低下となった。前年を下回るのは8か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で26万人増えた一方、失業者は2万人減った。また、非労働力人口も25万人の減少となった。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、19年12月は1.50倍（季節調整値）と前月比で0.09ポイントと大きく低下した。1.50倍は、直近でいえば17年10月（1.49倍）以来の水準。
- 近畿の失業率は低い水準が続き、有効求人倍率の水準も依然として高いとはいえ、賃金の推移は力強さに欠けるほか、直近では求人倍率が大きく低下するなど、トレンドが変わりつつあること確かである。今後の推移については注意が必要といえよう。



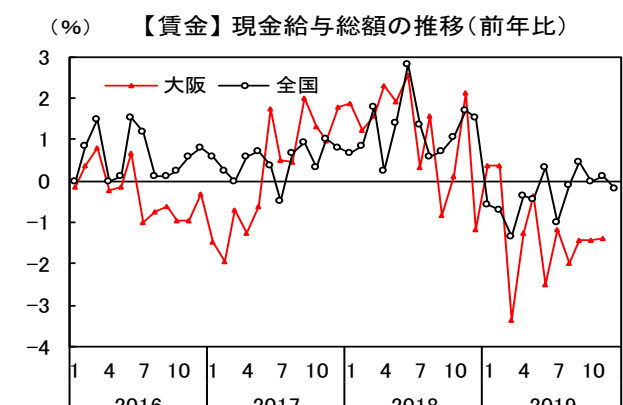
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」

本件照会先:大阪本社 荒木秀之
 TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp